

小野原分校の沿革

江戸時代	日出生台に集落ができ始める
幕末～明治初期	割子谷に学校ができる
1902～1903年 (明治35～36年)	割子谷の学校が今宿に移転。今宿分教場と呼ばれる。分教場の校区は、今宿(13戸)・平山(8戸)・秋塚(8戸)・割子谷(2戸)であった
1907(明治40)年	陸軍による日出生台の買収が始まり、民家の移転も始まる
1910(明治43)年	今宿から小野原(現在の衛藤利通氏の場所)に移転。日出生尋常小学校日出生台分教場と呼ばれる
1922(大正11)年	日出生尋常小学校小野原分教場と改称
1928(昭和3)年	校舎が現在の位置に移転改装
1947(昭和22)年	小学校令施行により日出生小学校小野原分校と改称
1950(昭和25)年	校舎増築
1964(昭和39)年	プール新設
1977(昭和52)年	新校舎完成。落成式・祝賀会が行われる
1978(昭和53)年	登校道舗装
1982(昭和57)年	運動場周りのフェンス設置
1985(昭和60)年	プール周りのフェンス設置
1990(平成2)年	第43回童話祭式典担当校
2001(平成13)年	校舎改修工事
2003(平成15)年	プールサイド補修工事
2006(平成18)年	センサーライト・給食室棚の設置。ミニ鉄棒・ミニサッカーゴール設置 タイムカプセル埋設